

《今回野焼きする作品(一部)》



火焰土器 模写[新潟県十日町市出土・国宝指定・縄文中期(約4,500年前)]高さ48cm(写真中央)
 亀ヶ岡式土器 模写[東北地方出土・縄文後期(約3,500年前)](写真手前) など

《第12回 春の縄文野焼き祭り》

■縄文野焼き祭りとは?

通算12回、6年目を迎える猪風来美術館恒例の『縄文野焼き祭り』。焼物の原点である縄文野焼きは、窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力によって焼きあげます。世の豊饒としあわせを祈り、生命と魂の躍動する独自の造形と縄文文様は現代の人々を魅了しています。

■野焼きの見どころ

猪風来美術館の陶芸教室生や法曾焼同好会員の作品を焼成します。今回の見どころは、縄文造形の最高峰といわれる火焰土器をはじめとする様々な土器の公開野焼きです。

■桜と炎で縄文気分!

法曾の山あいに萌える桜の花と立ちのぼる縄文野焼きの炎を見ながら、縄文気分にはまってみませんか。どなたでも自由に参加・見学できますので、みなさんお誘い合わせのうえお越しください。

《縄文体験コーナー》

■縄文土器で煮炊きしよう!

昔、縄文土器は煮炊き用の鍋として使われていました。尖った土器の先端を土や灰に突き刺し、そのまわりに薪をつんで燃やして猪汁を作ります。野生的な味わいを堪能しよう。(12時頃~/無料)

■にぎり地蔵をつくろう!

願い、祈りを込めて粘土をにぎり、竹べらで目や鼻を入れます。つくる人も地蔵さまもやさしいお顔に。(随時/300円)

■まが玉をつくろう!

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

□「粘土でつくろう」(随時/200円)

□「石でつくろう」(随時/黒・ピンク・白各500円)

《販売コーナー》

■地元の法曾焼同好会が、おにぎりやお飲み物などを販売いたします。

右 野焼き風景(2010年度春)
 右下 縄文土器での煮炊き
 左下ににぎり地蔵(法曾焼同好会制作)



- 日時 2011年4月16日(土)午前9時~午後4時
 ※雨天延期 4月24日(日)
- 会場 猪風来美術館前広場
 入場無料(館内は観覧料が必要です)
- 主催 猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)
 法曾焼同好会
- お問い合わせ先 猪風来美術館
 〒719-2552 岡山県新見市法曾 609
 TEL・FAX 0867-75-2444



- アクセス
 岡山から車で約90分
 岡山空港から車で約70分
 賀陽ICから車で約45分
 新見ICから車で約30分
 井倉駅からタクシーで約15分
 方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館
 新見市法曾陶芸館
<http://www.ifurai.jp/>